



IIXIL

引違い窓 半外付型

取付説明書

●取付けされる方に必ずお渡しください。掲載番号順に施工してください。

■守っていただきたいこと

▲注意 …取付けを誤った場合、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意



●本製品は複層ガラス使用の場合、組立て後の製品重量は最大で約80kgになります。施工は対応する人数で行ってください。思わぬケガをするおそれがあります。



●障子脱落のおそれがありますので、下記事項をお守りください。

- 必ず45×100mm以上の窓台(敷居)・30mm厚以上の間柱(ピッチ500mm以下)で開口部を作ってください。サッシ下枠が垂れ下り、障子が落下するおそれがあります。
- 必ず指定のスクリー釘・木ねじで枠を固定した後、障子を建込んでください。
- 開口部を付け枠などでふかす場合は、一体物と同じ強度になるように取付けてください。
- 躯体取付ねじは必ず釘を固定した後に締め付けてください。下枠が外側にこぼれ、障子が脱落するなどの不具合が発生するおそれがあります。
- 障子の建込み・建付け調整後、必ず外れ止めを上げてください。障子が落下するおそれがあります。

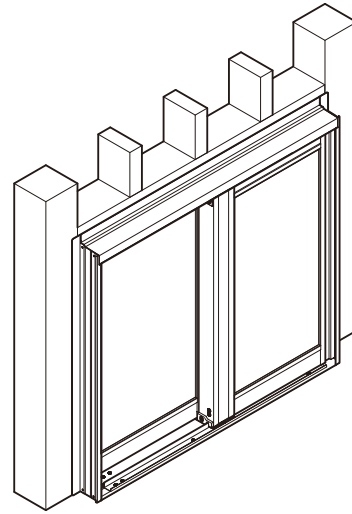


●漏水の原因となることがありますので下記事項をお守りください。

- 本製品取付け後、サッシ枠と躯体の取合せ部に防水テープ(別売)を張ってください。(本文中の図参照)
- 浴室にご使用の場合は必ず浴室防水部品セット(別売)をご使用ください。

取付上のお願ひ

- ソリ防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
- 樹脂は割れたり傷ついたりしやすいため、ぶつけたりこすったりしないでください。
- 樹脂部材ねじ止めの際は、締めすぎないでください。樹脂が割れたり、ねじが貫通したり、アングル波打ちの原因となることがあります。
- 施工前に樹脂形材が外れている場合は樹脂形材をはめ込んでから取付けを行ってください。アングル波打ちの原因となることがあります。
- テラス納まりの場合、床のフロアラインは必ず土台(下枠取付位置)から37±1mmしてください。アングル波打ちの原因となることがあります。



※下記内容は重要事項ですので必ず点検してください。

No.	チェック内容	
1	躯体取付ねじは浮きなくねじ止めしましたか?	☐
2	防水テープはピンホールを生じさせずに圧着しましたか?	☐
3	障子建込み、建付け調整後に、外れ止めを上げましたか?	☐

■取付ねじ一覧表

名称	
① スクリー釘φ2.1×32	
② 皿木ねじφ3.5×38	
③ 皿木ねじ(アングル部)φ3.1×20	
④ 丸木ねじφ3.5×25 〔テラスおよびアングル付き窓 (H1400以上またはW2000以上)のみ〕	

1 枠の固定

▲ 注 意



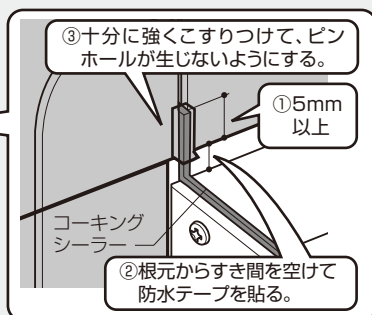
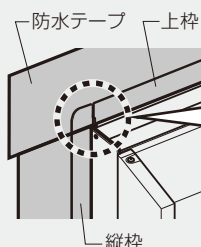
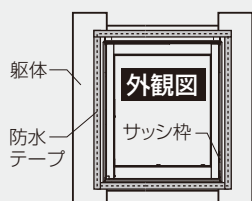
● 躯体取付ねじは必ず釘を固定した後、締め付けてください。下枠が外側にころび、障子が脱落するなどの不具合が発生することがあります。



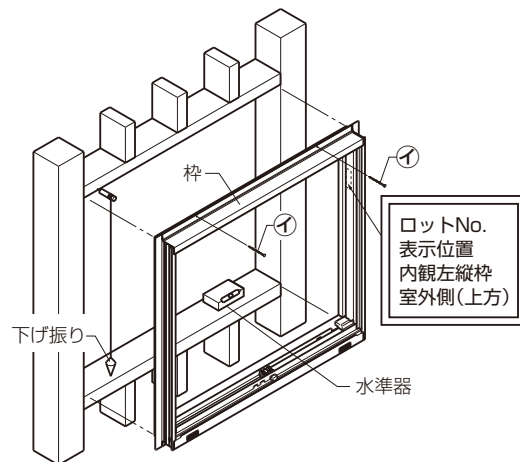
● 漏水防止のため、下記事項をお守りください。

- ・ 枠の水平・垂直を正確に出して取付けてください。
- ・ 本製品取付け後、枠と躯体の取合せ部に下記①～③に従って、防水テープ(別売)を張ってください。

- ① コーキングシーラーに5mm以上重ねる。
- ② 根元からすき間を空ける。
- ③ ピンホールを生じさせないように必ず圧着する。



① 開口部の水平・垂直を確認し、枠を仮止めします。

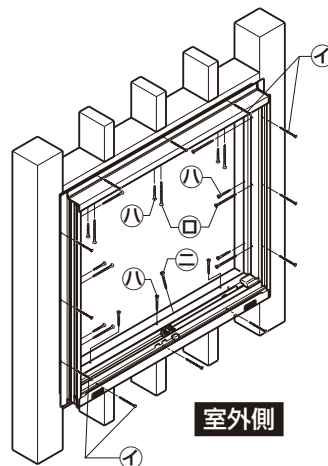


室外側

② 下げ振り・水準器で枠のねじれ・たおれ・ゆがみを直した後、固定します。

※ 柱と縦枠および上下枠のすき間には、必ず適切な厚さの木片などのかい物(調整材)を入れ、木ねじや釘で適切なトルクにて締め付けます。

※ 躯体取付ねじは、障子建込み前に固定してください。

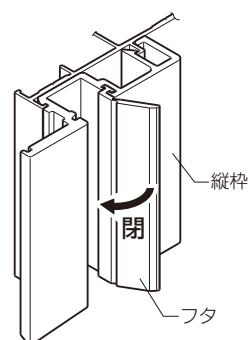


室外側

③ 躯体取付ねじ固定後、縦枠のフタを上端または下端から閉じてください。

※ フタが落込むおそれがありますので、フタを閉じる際はハンマーなどではたたかないでください。

※ 図はフタ付きを示します。対象外の商品もあります。



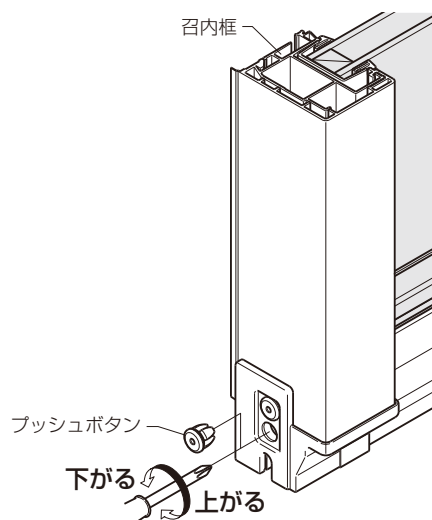
2 建付け調整

建付け調整上のお願い

- 召外下部を調整した場合は、召外下部気密ピースも調整してください。(障子を閉めた状態で部品を下げてすき間をなくします。)

■戸車調整

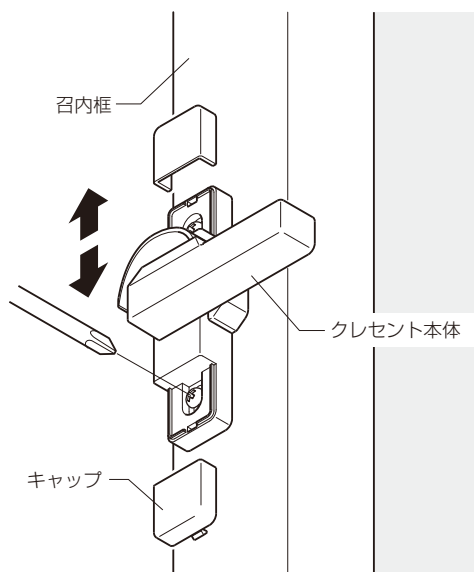
- プッシュボタンをいったん外して調整します。(調整後は、プッシュボタンを押込んでください。)
- ※出荷時、障子は下がった状態にあります。それ以上は下がりにませんので、上げたい場合のみ戸車調整してください。



■クレセント調整

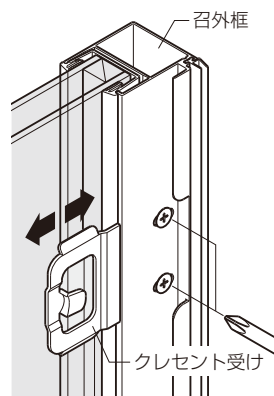
【上下方向の調整】(クレセント本体)

- ① キャップを外します。
 - ② プラスドライバーでねじをゆるめてクレセント本体を上下に動かします。
- ※調整後はしっかりねじを締めて、キャップをしてください。



【左右方向の調整】(クレセント受け)

- プラスドライバーでねじをゆるめてクレセント受けを左右に動かします。
- ※調整後はしっかりねじを締めてください。



③外れ止め調整

⚠ 注 意



●必ず外れ止めを上げてください。障子が落下するおそれがあります。

●プラスドライバーでねじをゆるめて外れ止めを上げます。
※調整後はしっかりねじを締めてください。

